

報道関係者 各位

新型インフルエンザ感染者の死亡について(85例目)

12月1日、神奈川県横浜市より、「新型インフルエンザに感染した患者の死亡について」別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成21年12月1日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

新型インフルエンザに感染した患者の死亡について

横浜市内の医療機関で亡くなられた患者1名が、新型インフルエンザに感染していたことが確認されましたのでお知らせします。

お亡くなりになられた方に哀悼の意を表しますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。報道に際しましては、お亡くなりになられた方及びご遺族のプライバシーに十分配慮していただくとともに、ご遺族ならびに医療機関への取材は控えていただきますようお願いいたします。

1 患者の概要

横浜市在住の70歳、男性
既往症 慢性閉塞性肺疾患

2 経緯

10月24日(土) 18:00頃 発熱37.2℃、呼吸苦を呈し、市内病院を受診し、入院。迅速診断キット陰性(1回目)。

11月 2日(月) 人工呼吸器を装着。
4日(水) 集中治療室で治療。迅速診断キット陰性(2回目)。
6日(金) 入院先の病院から横浜市保健所に報告、遺伝子検査の実施依頼。横浜市衛生研究所が遺伝子検査を実施したところ、新型インフルエンザは陰性(①回目)。

13日(金) 再度、病院から遺伝子検査の依頼があり、実施したが新型インフルエンザ陰性(②回目)。

28日(土) 17:00頃 集中治療室で治療を行っていましたが、残念ながらお亡くなりになりました。

30日(月) 22:45 11月6日の検体から分離培養(*)を行っていたウイルスを、遺伝子検査で新型インフルエンザ(A/H1N1)と確認。

*分離培養：ウイルスの性状を詳細に検査するため、感染性のあるウイルスを増殖させる作業で、検体すべてについて、分離培養を行っている。

3 死亡原因

低酸素血症